

調書の見方 第4次総合計画 施策の評価シート

大綱8 行政経営

政策1 行政資源の効果的活用

評価対象年度 平成30年度

<取組内容>

施策	基本計画本文
施策を構成する管理事業	施策の取組状況
8-1-1 効果的・効率的な行政運営の推進	行政評価の取組を強化しながら、その結果を実施計画、予算に反映し、行政課題に効果的・効率的に対応します。また、大阪府からの権限移譲や、近隣自治体などとの広域連携に努めるとともに、簡素で効率的な行政組織の構築を図ります。
1 企画政策事業 2 行財政改革推進事業 3 財政事務事業 4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民意見や市議会の総合計画検討特別委員会からの意見を踏まえながら、総合計画審議会への諮問、答申を経て、9月定例会において第4次総合計画案が承認されました。 ・ 行政評価事業については、令和元年度から、施策の推進及び効果的かつ効率的な事業実施に資するとともに、評価に係る事務を効率化するために、評価の基本単位や調書を変更しています。 ・ 市民に身近な基礎自治体として、自主・自立のまちづくりをさらに進めるため、令和2年4月1日の中核市移行に向けて、準備を進めています。
8-1-2	<p>【施策】 「施策」の名称を記載しています。</p> <p>【基本計画本文】 施策の主な目的や方向性を記載しています。</p>
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	<p>【施策を構成する管理事業】 施策を構成する管理事業を記載しています。</p> <p>【施策の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価対象年度に施策の推進のために取り組んだ内容のうち代表的なものを記載しています。 ・ 評価実施時点で、施策の課題に対応したものがあれば、その旨記載されている場合があります。 ・ 必要に応じ、次ページに記載している施策の進捗状況の評価についての説明を行います。
8-1-3 人材育成の推進	時代の 員が能力 した職員
1 人事管理事業 2 3 4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「吹田市職員人材育成基本方針」を改定し、総合的・計画的に職員の成長支援を行うこととしました。 ・ 実務基礎能力について、実務研修の実施と併せて効果測定等による取得状況の確認を行い、特に若手職員の事務処理能力の向上を図りました。 ・ 政策課題についてグループで研究する研修の実施や自主研修グループの活動支援により、職員の自主的な取組を促進しました。 ・ 人事評価制度について、目標管理や評価面談に関するスキルの向上を中心とした評価者
8-1-4 ICTの利活用	市民の利便性の向上や行政運営の効率化を図るため、ICTの利活用を進めます。また、災害発生時などにおける行政サービスの継続性を確保するとともに、情報セキュリティの脅威に対応するため、情報システムの強化を図ります。
1 情報システム運用事業 2 3 4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図情報とそれに係るシステムを最適化し、各主管室課業務への地図情報の活用及び将来的な市民への公開を実現するための中心的なシステムとして、吹田市統合型GISの再構築を行いました。 ・ 電子申込システムの構築により、市が実施する各種検診や講演会等をインターネットで予約できるようにし、事務の効率化と市民サービスの向上を図りました。 ・ 平成30年度に稼働開始した、住民情報系の6つのシステムについて、共通基盤システムへの集約化を行うことで、システムの統合的管理とセキュリティ強化を実現しました。 ・ 効率的な会議運営が可能となるよう、タブレット会議システムを構築しました。 ・ 政策指標「ICTを活用した行政サービスの稼働休止時間」が平成30年度は増加していますが、本市住民情報系システム全体の稼働目標時間8,760時間中1システムが4時間利用不可だったことによるものであり、稼働率は99.9%であることから進捗度は「A」としています。

調書の見方 第4次総合計画 施策の評価シート

大綱8

行政経営

政策1

行政資源の効果的活用

評価対象年度 平成30年度

<施策指標等の推移>

8-1-1 効果的・効率的な行財政運営の推進											目標 (令和10年度)	めざすま ちの姿
施策指標1 財政調整基金残高(単位:億円)											100億 円	↑
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
実績	106	122										
進捗 状況		A										
[目標(令和10年度)] 計画最終年度の令和10年度 の施策指標の目標値を記載 しています。												
[めざすま ちの姿] 政策ごとのめざすま ちの姿 を記載しています。												
[実績] 施策指標の評価対象年 度における実績値を記 載しています。												
[策定時] 第4次総合計画の策定時点の数 値を記入しています。												
[進捗状況] ・実績に基づき、施策の進捗状況を「S」「A」「B」「C」で評価します。 記入にあたっての考え方は以下のとおりです。 S:目標を大きく達成している、又は目標の達成に向けて計画以上に進んでいる。 A:目標を達成している、又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる。 B:目標を達成していない、又は目標の達成に向けた進捗が少し遅れているが、 計画最終年度には目標を達成する見込みである。 C:目標を大きく下回っている、又は目標の達成に向けた進捗が遅れており、 取組の強化が必要である ※「-」としている場合は、指標としている数値が今年度中に判明しないため、 評価を行っていません。 ※空欄の場合は、評価時点で数値が判明していませんが、今年度中に判明する予定のため、 数値が判明した段階で評価を行い、改めて調書を公開します。												
8-1-3 人材												
施策指標1 完了した割合(単位:%)												
年度	策定 (平成29年度)											
実績	0											
進捗 状況												
8-1-4 ICTの活用												
施策指標1 ICTを活用した行政サービスの稼働休止時間(単位:分)											0分	↓
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
実績	144	240										
進捗 状況		A										
施策指標2 -												
年度	策定時 (平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
実績	-											
進捗 状況												

限ら
柔軟た
に財
対源
応や
し人
な材
がら
の
持
続政
可資
源な
が
行有
政効
運活
用が
さ
行れ
わ、
れ新
てた
いる
行政
課題
に